

目次

口 絵

発刊にあたって

発刊のことば

凡 例

熊谷市長 富岡 清  
熊谷市教育委員会教育長 野原 晃

第一章 熊谷市の概観と「民俗編」の構成

第一節 位置と地勢…………… 3

第二節 土地利用と産業…………… 4

第三節 調査対象の地域…………… 5

第四節 『民俗編』の構成…………… 6

第二章 社会生活

概要…………… 15

第一節 地域の組織…………… 16

一 村等の組織…………… 16

はじめに…………… 16

(一) 熊谷地域…………… 16

(二) 妻沼地域…………… 18

(三) 禁忌…………… 18

二 屋 号…………… 19

三 諸集団…………… 20

(一) 講…………… 20

(二) 代参講…………… 21

(三) 子供…………… 24

(四) 女性…………… 28

四 共同労働…………… 29

(一) 田植え等の作業に関わるもの…………… 29

(二) 道普請・堀さらいなど…………… 30

(三) 夜 番…………… 30

(四) 井 戸…………… 31

(五) 風 呂…………… 32

(六) 雨乞い…………… 33

(七) 洪水…………… 34

第二節 家…………… 34

一 本分家…………… 34

二 家の伝承…………… 35

(一) 七子日	35
(二) 禁忌	35
三 つきあい	36
コラム——愚禪和尚の書と逸話	40

### 第三章 住生活

#### 概要

##### 第一節 屋敷構え

###### 一 屋敷取りと建物配置

コラム——町家住宅 熊谷本町・絹屋⑨

###### 二 付属施設

(一) 門	69
(二) 物置・木小屋	69
(三) 養蚕施設	70
(四) 蔵・味噌蔵	72
(五) 牛小屋(馬小屋)	75
三 その他	77
(一) 屋敷林	78
(二) 垣根・塀	78

(三) 庭	79
(四) 庭木	80
(五) 屋敷神	81
(六) カイドウ	82
(七) 水防	82

##### 第二節 家造りと住まい方

###### 一 屋根

(一) 屋根の形	84
(二) 屋根の材料	84

###### 二 造作

(一) 母屋の間取り	86
(二) 造作	86

###### 三 土間

(一) 出入口	90
(二) 台所	90
(三) 縁の下	92

###### 四 風呂・便所

(一) 風呂	95
(二) 便所	96

###### 五 井戸

(一) 井戸の種類・位置・深さ・水汲みの方法	100
(二) 共同井戸	102
(三) 井戸掘り	104

(四) 井戸館	105
六 家具・その他	106
(一) 家具	106
(二) イロリ	106
(三) 火鉢	107
七 建築儀礼	108
(一) 家を建てる準備	108
(二) 地鎮祭	109
(三) 上棟祭	111
(四) 屋移り	114

### 第四章 衣生活

#### 概要

##### 第一節 仕事着

一 男性の仕事着の変化	118
(一) 和服の頃の男性の仕事着	118
(二) 洋服になってからの男性の仕事着	119
二 女性の仕事着の変化	120
(一) 和服の頃の女性の仕事着	120
(二) 洋服になってからの女性の仕事着	121

##### 第二節 普段着

###### 一 男性の普段着の変化

(一) 和服の頃の男性の普段着	122
(二) 洋服になってからの男性の普段着	123

###### 二 女性の普段着の変化

(一) 和服の頃の女性の普段着	124
(二) 洋服になってからの女性の普段着	124

###### 三 下着

(一) 男性の下着	125
(二) 女性の下着	125

###### 四 子供の服装

(一) 小学生の普段着と通学着	127
(二) 中学・高校生などの普段着と通学服	128

##### 第三節 よそゆき

一 よそゆき	129
(一) 男性のよそゆき	129
(二) 女性のよそゆき	130

##### 第四節 晴れ着

一 晴れ着	131
(一) 子供の成長と着物	131
(二) 産着	131

- (三) お宮参り ..... 132
- (四) 七五三 ..... 133
- (五) 成人式 ..... 133
- 二 祝儀の着物 ..... 133
- 三 年祝い—長寿の祝い ..... 135
- 四 祭りや行事の時に着る着物 ..... 135
- 五 葬式の時の着物 ..... 136
- 六 死者の装束 ..... 137

第五節 防寒着

- 一 防寒着 ..... 138
- (一) 防寒着 ..... 138
- (二) ねんねこと亀のこう ..... 139

第六節 裁 縫

- 一 裁 縫 ..... 139
- (一) 裁 縫 ..... 139
- (二) 着物の作り方と裁ち方 ..... 141
- (三) 袖のいろいろ ..... 144
- 二 洗い張りを作り直し ..... 145
- (一) 洗い張り ..... 145
- (二) 作り直し ..... 146
- (三) 繕 い ..... 147

第七節 染と織り

- 一 糸取り ..... 148
- (一) 糸取り ..... 148
- 二 機織り ..... 149
- 三 染 め ..... 150

第八節 雨 具

- 一 雨具の変化 ..... 150
- 二 農作業の時の雨具 ..... 150
- 三 傘のいろいろ ..... 151
- 四 雨の日の通学 ..... 152
- 五 雨の日の履き物 ..... 152

第九節 寝 具

- 一 布 団 ..... 153
- 二 枕 ..... 155
- 三 蚊 帳 ..... 156
- 四 ねまき ..... 157
- (一) 男性のねまき ..... 158
- (二) 女性のねまき ..... 158
- (三) 子供のねまき ..... 158
- (四) パジャマ ..... 158

第一〇節 髪と化粧

- 一 髪と洗髪 ..... 158
- (一) 髪 型 ..... 158
- (二) 洗 髪 ..... 160
- 二 化 粧 ..... 160
- (一) 化粧品 ..... 160

第一節 衣服の管理・保存

- 一 洗 濯 ..... 161
- (一) タライと洗濯板 ..... 161
- (二) 石けん ..... 162
- (三) 洗濯機 ..... 162
- 二 虫干し・防虫・収納 ..... 163
- (一) 虫干し ..... 163
- (二) 防 虫 ..... 164
- (三) 収 納 ..... 164
- (四) 虫に喰われてしまったら ..... 165
- 三 汚れを取る ..... 165

第二節 ことわざ・禁忌(タブー)・迷信など

- 着る物に関することわざ ..... 166
- 一 しつけ(躰) ..... 166
- 二 死 者 ..... 167

- 三 裁 縫 ..... 167
- 四 衣 類 ..... 168
- 五 その他 ..... 168

第五章 食生活

概要

第一節 毎日の食事

- 一 食 制 ..... 172
- (一) 呼び方 ..... 172
- (二) 食事の時間 ..... 172
- (三) 朝食・昼食・夕食 ..... 173
- (四) 休 み ..... 175
- (五) 食事を食べる場所 ..... 176
- (六) 食事場所の移り変わり ..... 176
- (七) 唱え言 ..... 177
- 二 主 食 ..... 178
- (一) 麦 ..... 178
- (二) 米 ..... 179
- (三) うどん ..... 182
- (四) そば ..... 184
- (五) ごはんが足りなかった時 ..... 185
- (六) 雑 穀 ..... 187

三 汁	189
(一) 味噌汁	189
(二) 醤油の汁	190
(三) いろいろな汁	190
四 副食(おかず)	193
(一) 野菜のおかずと作り方	193
(二) 魚のおかずと作り方	195
(三) 肉や卵のおかずと作り方	197
(四) その他	198
五 間食	199

第二節 晴れの日の食事

一 年中行事の食事	200
(一) 正月の食事	200
(二) 節分	205
(三) 初午	205
(四) 桃の節句	206
(五) 彼岸	206
(六) 端午の節句	207
(七) お蚕休み	207
(八) 農休み・農上がり(野上がり)	208
(九) 七夕	208
(一〇) お盆	209
(一一) 十五夜・十三夜	210
(一二) 十日夜	210

第三節 保存食

(一三) 恵比須講	211
(一四) 冬至	211
(一五) 大晦日	212
二 行事食の作り方(分量・作り方)	213
(一) 赤飯	213
(二) 小豆がゆ・小豆めし・小豆ごはん	213
(三) かてめし・五目めし	214
(四) すし	215
(五) まんじゅう	215
(六) ぼた餅	217

一 漬物

(一) たくあん漬	217
(二) 白菜漬	219
(三) ラッキョウ漬	219
(四) 梅干し	220
(五) ぬか漬	221
(六) おなめ	222
(七) 味噌漬	222
(八) 塩漬	223
(九) その他	223
二 干物	223
(一) 切干し大根	223
(二) 干し大根	224

第四節 調味料・ダシ

(三) 乾燥芋・切干し芋	224
(四) 芋がら	225
(五) 干し柿	226
(六) その他	227

第六節 台所(勝手)・食器・道具

三 牛乳・ヤギ乳	234
(一) 牛乳	235
(二) ヤギ乳	235

一 調味料

(一) 味噌	227
(二) 醤油	228
(三) 砂糖	229
(四) 塩	229
(五) 油	230
(六) 酢	230

(一) 流し	236
(二) 井戸	236
(三) カマド	237
(四) 食器・道具	237

二 ダシ

(一) かつお節	231
(二) 煮干し	232
(三) トリガラ	232

第七節 燃料(燃し木)

(一) 付け木	239
(二) 稲藁や麦藁・籾殻	239
(三) 桑の枝(クワヅ)・桑根っ子	239
(四) 流木	239
(五) 防風林・庭木の枝・落ち葉など	240
(六) 薪・炭など	240

第五節 嗜好品

一 お茶	232
二 酒	233
(一) 清酒	233
(二) ドブロク	234
(三) 甘酒	234
(四) その他	234

第八節 ことわざ・禁忌(タブー)・食い合わせ

一 ことわざ・禁忌(タブー)	241
二 食い合わせ	242

第六章 生業

第一節 はじめに

- (一) 生業とは……………245
- (二) 熊谷市の生業概観……………245
- ① 地形と環境……………245
- ② 熊谷・妻沼地域の農業……………246
- ③ 商人と職人……………247
- (三) 妻沼聖天山の祭礼は農作業の節目……………247

第二節 水田稲作

- はじめに……………248
- (一) 水不足と水争い……………248
- (二) 田植えの労働力……………250
- (三) 稲作の工程……………252
- (四) 稲刈りの進め方と稲の乾燥法……………254
- (五) 稲の脱穀・調整……………257
- (六) 畦畔栽培……………257
- (七) 稲作の節目の行事・禁忌……………258
- (八) 稲藁の保存……………262
- (九) 稲藁の利用……………263

第三節 麦作

- (一) 麦作と技術改良の歴史……………263
- (二) 水田二毛作による麦作り……………266
- (三) 畑の麦づくり……………269
- (四) 発芽後の管理……………272
- (五) 麦蒔きの禁忌と麦作儀礼……………275

第四節 養蚕

- はじめに―養蚕の先進地―……………276
- (一) 桑の栽培と管理……………277
- (二) 桑畑での野菜作り……………280
- (三) 大正から昭和の熊谷・妻沼地域の養蚕……………281
- (四) 養蚕の労働力……………288
- (五) 養蚕の祝いと信仰……………288
- (六) 養蚕と桑栽培の衰退……………290

第五節 野菜作り

- はじめに……………291
- (一) ネギ作りとヤマトイモ作り……………291
- (二) 野菜作りの展開……………293

第六節 漁撈

- はじめに……………295
- (一) 漁撈の場・漁撈の権利……………296
- (二) 池沼の漁撈……………298
- ① 別府沼の漁撈……………298
- ② 江袋沼の漁撈……………298
- (三) 用排水路と水田の漁撈……………300
- (四) 河川の漁撈……………302
- (五) その他の漁撈……………304
- (六) 淡水産魚介類の流通……………305

第七節 商人と職人

- はじめに……………305
- (一) 『埼玉縣営業便覧』にみる明治三十年代の商人・職人の分布……………306
- ① 熊谷中心市街地の商人・職人の分布……………306
- ② 妻沼中心市街地の商人・職人の分布……………308
- (二) 人々の記憶に残る商人……………309
- (三) 人々の記憶に残る職人……………312
- (四) 特徴的な諸職……………313

第八節 農事日誌に見る農家の暮らし

- はじめに……………316
- (一) 昭和二十一年の農事日誌……………316

第七章 交通交易

概要

第一節 道

- 一 中山道……………331
- 二 秩父往還……………332
- 三 その他の道……………332
- (一) 熊谷につながる道……………332
- (二) 妻沼につながる道……………333
- 四 道標と道……………333
- (一) 熊谷地域の道標……………333
- (二) 妻沼地域の道標……………334
- 五 交通手段……………335
- (一) 鉄道……………336
- (二) バス……………336
- (三) 人力車・輪タク……………336

- コラム1 ―熊谷型紙……………322
- コラム2 ―五家宝……………324
- コラム3 ―製麺―熊谷の乾麺……………325

- 六 運搬具……………336
  - (一) 背負い用具……………336
  - (二) 肩に担ぐもの……………337
  - (三) 手で運ぶもの……………337
  - (四) 荷車……………337
  - (五) 牛車……………338
  - (六) リヤカー……………338

第二節 渡し・橋……………338

- 一 荒川……………338
- 二 利根川……………339
- (一) 渡し……………339
- (二) 橋……………339

第三節 通信……………340

- 一 太鼓や鉦など音を使う……………340
- 二 文書や人を介しての連絡……………340

第四節 行商……………341

第五節 市……………341

- 一 熊谷の六斎市……………341

- 二 暮れの市……………342
- 三 だるま市……………342
- 四 西の市……………343
- 五 植木市……………343
- 六 葛和田市……………343

第六節 店(商人・職人)……………343

第八章 信仰……………347

第一節 市内の社寺の概要……………347

- 一 式内社の概要……………347
- 二 主要寺院の概要……………350

第二節 主要社寺の信仰……………352

- 一 高城神社……………352
  - (一) 由緒沿革……………352
  - (二) 特殊信仰……………353
  - (三) 祭りと年中行事……………353
- 二 熊谷寺……………354
  - (一) 由緒沿革……………354
  - (二) 直実公に関する信仰伝説……………355

第四節 葛和田のあばれ神輿……………370

- 一 葛和田河岸と大杉信仰……………370
- 二 祭りの準備と組織……………371
- 三 神輿渡御「御招待」「力競べ」「カワモミ」……………372

第五節 主要な祭りとは信仰……………373

- 一 天王信仰……………373
- 二 「オシシヤマ」の信仰……………377
- 三 地藏信仰……………378
- 四 観音信仰……………380
  - (一) 上岡観音(東松山市岡)……………380
  - (二) 水越観音(熊谷市上中条)……………382
  - (三) 御堂ヶ谷戸の観音様(熊谷市新堀、大正寺境内)……………382
  - (四) 坪井の観音様(熊谷市石原、東漸寺境内)……………383
  - (五) 三ヶ尻の嫁子観音(熊谷市三ヶ尻、龍泉寺境内)……………383
- 五 玉井神社のお歩射……………384
- 六 大我井神社鎮火祭……………385

第六節 講・代参講・奉納絵馬……………387

- 一 様々な講……………387
- 二 代参講……………388
- 三 奉納絵馬……………390
  - (一) 大絵馬……………390

第三節 熊谷うちわ祭……………365

- 一 起源と歴史……………365
- 二 山車・屋台の概要……………366
- 三 祭り囃子について……………367
- 四 祭りの準備……………368
- 五 神輿渡御と山車・屋台の巡行……………369

(二) 小絵馬 ..... 392

第七節 民俗芸能 ..... 393

- 一 神 楽 ..... 393
- 二 獅子舞 ..... 393
- (一) 池上の獅子舞 ..... 393
- (二) 下川上の獅子舞 ..... 395
- (三) その他の獅子舞 ..... 396
- 三 祭り囃子 ..... 397
- (一) 東別府の祭り囃子 ..... 397
- (二) うちわ祭の祭り囃子 ..... 397
- (三) 籠原の祭り囃子 ..... 398
- 四 万 作 ..... 398
- (一) 間々田の万作 ..... 398
- (二) 上中条川北の万作 ..... 399
- 五 前新田の地藏念仏 ..... 400
- 六 上川原神道香取流棒術 ..... 401
- 七 相 撲 ..... 402
- 八 木遣り ..... 403

コラム——上岡観音の絵馬市を支えた熊谷の絵馬師たち ..... 405

- (二) 十四日 ..... 426
- (三) 十五日 ..... 426
- (四) セエノカミ ..... 427
- (五) オタキアゲ・カガリビ ..... 427
- (六) 十六日 ..... 427
- (七) 十王様 ..... 427
- (八) 十八日粥 ..... 428
- 四 観音様 ..... 428
- 五 二十日正月 ..... 429
- 六 恵比須講 ..... 429
- 七 天神講 ..... 430
- 八 不動講 ..... 430
- 九 二十八日 ..... 430

第二節 春から夏の行事 ..... 431

- 一 次郎の一日 ..... 431
- 二 風祭り ..... 431
- 三 節 分 ..... 431
- 四 節分のオタキアゲ ..... 433
- 五 二月八日 ..... 434
- 六 針供養 ..... 435
- 七 初 午 ..... 435
- 八 風祭り ..... 436
- 九 社日様 ..... 436
- 一〇 彼 岸 ..... 436

第九章 農村の年中行事

概要 ..... 409

第一節 正 月 ..... 411

- 一 正月の準備 ..... 411
- (一) ススハライ ..... 411
- (二) 門松・注連飾り ..... 411
- (三) 歳神棚 ..... 412
- (四) 餅つき ..... 413
- (五) 大晦日 ..... 415
- (六) 大晦日のオタキアゲ ..... 417
- 二 正 月 ..... 418
- (一) 元 日 ..... 418
- (二) 三ヶ日の食事 ..... 418
- (三) 謡い初め ..... 421
- (四) 寺との関わり ..... 421
- (五) セチ日 ..... 422
- (六) タナサガシ ..... 422
- (七) 山入り ..... 422
- (八) 七 草 ..... 423
- (九) クワイレ ..... 423
- 三 小正月 ..... 424
- (一) モノツクリ ..... 424

- 一一 三月の節供 ..... 437
- 一二 花祭り ..... 437
- 一三 八十八夜 ..... 438
- 一四 端午の節供 ..... 438

第三節 七月の行事 ..... 439

- 一 厄神除け・フセギ ..... 439
- 二 オシシサマ ..... 440
- 三 ノアガリ(農休み) ..... 441
- 四 水神様 ..... 441
- 五 天王様(祇園) ..... 442
- 六 真 言 ..... 443
- 七 廻り不動様 ..... 443
- 八 百萬遍 ..... 444
- 九 大師講 ..... 444
- 一〇 石尊様 ..... 444
- 一一 土用の丑の日 ..... 446

第四節 盆 ..... 446

- 一 オタキアゲ ..... 446
- 二 ナナバンゲ ..... 447
- 三 八月一日 ..... 448
- 四 虫送り ..... 448
- 五 ショウボンギモン(生盆着物)・生盆 ..... 448

六七	夕	449
七	観音様	450
八	盆の準備	450
(一)	盆の期間	450
(二)	土盛り	451
(三)	ボンブチ(盆扶持)・ボンク(盆供)	451
(四)	盆棚	452
九	迎え盆	453
一〇	盆中の食事	455
一一	川施餓鬼	455
一二	野回り	456
一三	盆中のこと	456
一四	送り盆	456
一五	その他の八月の行事	458
(一)	十王様	458
(二)	地藏様	458
(三)	九頭龍様	459

第五節 秋から冬の行事

一八	朔	459
二	二百十日・二百二十日	459
三	十五夜・十三夜	459
四	お神のお立ち	460
五	お神のお帰り	461
六	トウカンヤ	461

七	恵比須講	462
八	カビタリ	463
九	十二月八日(ヤキビン)	463
十	冬 至	464

コラム——巳年御開帳

第一〇章 町場の年中行事

第一節 正月

一	正月の準備	469
(一)	暮れの市	469
(二)	すすはらい	469
(三)	お飾り	469
(四)	餅つき	469
(五)	大晦日	469
二	正月	470
(一)	元日	470
(二)	三ヶ日の食事	470
(三)	初 荷	471
(四)	年始回り	471
(五)	仕事始め	471
(六)	七 草	471
(七)	蔵開き	471

(二七) 土用丑の日

第三節 盆

一	七夕祭り	478
(一)	熊谷の七夕祭り	478
(二)	妻沼の七夕祭り	478
二	盆行事	478
(一)	盆棚等の準備	478
(二)	迎え盆	478
(三)	盆中の食事	479
(四)	送り盆	479
(五)	星川の灯籠流し	479
(六)	花火大会	479

第四節 秋・冬の行事

(一)	十五夜・十三夜	480
(二)	十日夜	480
(三)	恵比須講	480
(四)	十二月八日(ヤキビン)	481
(五)	お西様	481
(六)	冬 至	481

第二節 春・夏の行事

(一)	風祭り	472
(二)	節 分	473
(三)	針供養	473
(四)	初 午	473
(五)	熊谷だるま市	474
(六)	三月の節供	474
(七)	お花見	474
(八)	お釈迦様	475
(九)	妻沼聖天山春祭り	475
(一〇)	五月の節供	475
(一一)	大祓い	475
(一二)	七月一日風祭り	476
(一三)	妻沼夏祭り(祇園)	476
(一四)	うちわ祭	476
(一五)	大山石尊講	477
(一六)	二十二夜様の祭り	477



第一章 人の一生

概要

..... 485

第一節 産 育

..... 485

一 妊 娠

..... 485

妊娠／妊娠祈願／安産祈願／産児制限／帯祝い／妊娠中の禁忌

二 出 産

..... 487

出産の場所／出産／とりあげ婆さん・お産婆さん／臍の緒／後産／産湯／お産の忌みと産婦／母乳／産後の食事と産婦／お産見舞い

三 子供の成長と祝い

..... 492

産立の飯／産着／お七夜・名付け・セツチン様参り／ウブアケ(産明け)・初宮参り／昭和三年刊行「妻沼町誌」七夜並おびや祝の項／お食い初め／初正月／初節供／初山／捨て子の習俗(双子・十月歯・厄年)／初誕生／七五三祝い・三つ身の祝い／七五三祝い・帯解き祝い／昭和三年刊行「妻沼町誌」紐解の項／育児の呪法／一人前(十五の初山)／年季奉公／成人式

第二節 婚 姻

..... 504

一 婚 約

..... 504

結婚年齢／縁談／仲人／見合い／タイルレ(樽入れ)／クチガ

タメ(口固め)・結納／アシイレ(足入れ)

二 御 祝 儀

..... 510

御祝儀の時期／嫁入り道具と荷送り／嫁迎え／嫁入り／婿入り

／入家式／御祝儀

三 御 祝 儀 後

..... 520

カネツケ祝い・挨拶回り／髪洗い・初めての里帰り／里帰り／大正二年刊行「秦村郷土誌」婚禮の項／昭和三年刊行「妻沼町誌」婚姻の項

四 病 気 ・ 治 療

..... 523

祈願・まじない

第三節 厄年・年祝い

..... 523

厄年／年祝い／ゴジュウゴの団子(五五の団子)

第四節 葬 送

..... 526

一 死 と 霊

..... 526

死の予兆／末期の水／死の忌み／臨終直後の行為／枕飯・枕団子／サタ(沙汰)・ツゲ(告げ)／ユカン(湯灌)／死に装束・死に化粧／ニツカン(入棺)／通夜

二 葬 儀

..... 533

葬式組・葬具・勝手仕事／墓穴掘り／香典／葬儀・野辺送り／葬列／喪服／埋葬／本膳／念仏／墓直し

三 忌み明け・年忌

..... 544

初七日から四十九日までの儀礼／百か日／初彼岸／新盆／年忌

／流れ滝頂／大正二年刊行「秦村郷土誌」葬儀の項／昭和三年刊行「妻沼町誌」葬祭の項

コラム——子供墓

..... 549

第二章 口頭伝承

概要

..... 553

第一節 伝説・昔話・世間話

..... 555

一 伝 説

..... 555

(一) 祝福された村

..... 555

(二) 神仏の訪れる地

..... 558

(三) 神仏の訪れくる所

..... 558

(四) 神々の争い

..... 559

(五) 日常の生活を見守ってくれている身近な神仏

..... 560

(六) 聖天様に関する伝説

..... 561

(七) 聖天様は松が嫌い

..... 562

(八) 門松を立てない

..... 564

(九) 松のつく名前さえ嫌う

..... 565

(十) 聖天様はお酒が嫌い

..... 565

(十一) 水辺の村々

..... 566

(十二) 水害は最大の脅威であった

..... 566

二 昔 話

..... 570

(一) 昔話の背景

..... 570

(二) 語り継がれた話

..... 572

① 猿掣入り話

..... 572

② 蛇掣入り話

..... 573

③ 依藤太のムカデ退治

..... 574

④ 達磨郎の話「ヘソの下は見せられねえ」

..... 574

⑤ 雀はなぜ穀類を食べるのか

..... 575

⑥ ミヨウガを食うと

..... 575

⑦ 納豆と豆腐

..... 575

⑧ 十二支のいわれ

..... 575

⑨ 仕事は弁当

..... 575

⑩ 団子団子

..... 576

⑪ コオロギの鳴き方

..... 576

⑫ 馬の尻の穴

..... 576

⑬ 親孝行な息子

..... 576

⑭ あんころ餅は本尊様

..... 576

⑮ 鳥のひっこし

..... 577

⑯ 日と月と雷の旅

..... 577

⑰ 雨蛙孝行

..... 578

三 世 間 話

..... 578

(一) 世間話の背景

..... 578

(二) 語り継がれた話……………579

① 夏の風物詩―きつねの嫁入り史……………579

② ムジナに化かされた話……………579

③ 偽汽車……………579

④ 聖天様裏にいた女狐……………580

⑤ 大原狐……………580

⑥ キューホーさんとムジナ……………580

⑦ 一乘院寸話(ムジナ、和尚に言い負かされる)……………581

⑧ オサキ持ち……………581

⑨ 追い剥ぎとうか(お稲荷)……………581

⑩ 蒙まうが引く(怪獣の話)……………581

⑪ ドウマンマナコ……………582

⑫ 元荒川の人魂……………582

⑬ 綺麗きれい!狐火の火の火の火の火の火……………582

⑭ 一乘院寸話(きつねの嫁入り)……………582

⑮ お稲荷とろろの嫁入り……………583

⑯ 鶴匠とろろと人買い……………583

⑰ 聖天様の雉子きんぎょを食った男……………583

毘沙門堂のきつね『熊谷の昔ばなし』より……………584

第二節 歌……………585

一 むかしの歌……………585

二 民謡……………585

(一) 祝い歌……………585

(二) 盆踊り歌……………586

(三) 万作……………586

(四) 仕事歌・機織り歌……………587

三 遊び歌……………588

(一) まりつき唄……………588

(二) お手玉歌……………588

(三) おはじき歌……………589

(四) 手合わせ(手遊び)歌……………589

(五) 縄跳び歌……………589

(六) 羽根突き唄……………590

(七) その他……………590

四 子守歌……………591

五 年中行事の歌……………591

第三節 口承文芸と民間知識……………592

一 前兆・予知……………592

(一) 天候・気象の予知……………592

(二) 大気移動(風向)……………593

(三) 大気の諸相……………595

(四) 動物予知……………595

(五) 日常生活の経験上から……………596

(一) 吉兆・凶兆……………596

(二) 吉兆……………596

(三) 凶兆……………596

(四) その他……………597

二 民間療法……………597

(一) 時代背景……………597

(二) 療法……………599

(一) 祈願・呪術による療法……………599

(二) 民間薬による療法……………601

コラム―熊谷次郎直実と斎藤別当実盛……………605

掲載写真一覧……………607

引用・参考・拠出文献一覧……………626

註……………629

協力者一覧……………630

熊谷市史編さん組織……………633

熊谷市史編集委員……………633

民俗専門部会員・本文執筆者……………638

市史編さん事務局……………639